

第5回「原発事故被災地域における放射線量マッピングシステムの 技術開発・運用とデータ解析に関する研究会」

2018年2月27日 13:30～28日 14:50
京都大学原子炉実験所（大阪府泉南郡熊取町）

2月27日

13:30 開会あいさつ

座長：百田佐多生

13:40～14:10 KURAMAの展開の現状
谷垣 実（京都大学）

14:10～14:40 ASURAを用いた最近の調査の紹介
後藤 淳（新潟大学）、高橋剛、遠藤良、福島優希、吉田秀義、
西方真弓、菖蒲川由郷、内藤眞

14:40～15:10 TBA
武宮 博（原子力機構）

15:10～15:30 休憩（20分）

座長：谷垣実

15:30～16:00 土壌中における放射性Csの深さ分布の推定方法の検討
百田 佐多生（高知工科大学）、荒木 菜奈、谷垣 実（京都大学）

16:00～16:30 KURAMAIIを用いたカキほ場の放射性物質分布状況
関澤春仁（福島県農業総合センター）

16:30～17:00 福島県飯舘村における水田周囲の土壌放射能の評価
上田義勝（京都大学）、二瓶直登（東京大学）、徳田陽明（滋賀大学）、
谷垣実（京都大学）

18:00～20:00 情報交換会
関空ジョイテルホテル

2月28日

座長：水野義之

10:15～10:45 放射能測定法シリーズNo.17「連続モニタによる環境 γ 線測定法」の改訂について
松田秀夫（原子力規制庁）

10:45～11:15 生活行動経路に沿ったKURAMA測定に基づく被ばく線量の推定
佐藤哲朗（日立ソリューションズ東日本）

11:15～11:45 最近のモニタリングカーによる測定結果と課題報告
梨木裕之（東京電力）

11:45～13:00 昼食（75分）

座長：後藤淳

13:00～13:30 PHITSシミュレーションによる土壌放射能濃度分布と空間線量率の関係に関する
一考察
水野義之（京都女子大学）

- 13:30~14:00 放射線量マッピングのための 屋内外測位技術の現状
津野 浩一（国際航業）、渡辺 明彦、加納 政宏
- 14:00~14:30 KURAMAによる常磐道放射線量計測
武宮 博（原子力機構）、斎藤公明、吉田浩子（東北大学）
- 14:30~14:50 総合討論
- 14:50 終了